

競技注意事項

ここで示す注意事項は競技運営には欠かすことのできない、必須事項ですので熟読いただき、競技運営が円滑にできますようご協力願います。

1. 競技規則について

本大会は、2023年（公財）日本陸上連盟規則、日本マスタース陸上競技連合規則、第38回静岡マスタース陸上競技選手権大会要項およびこの競技注意事項により実施する。

2. 競技者の招集について

競技に出場する競技者は（以下競技者という）競技者招集所（第4コーナー器具庫前）において競技者係に出場の手続きを行い、点呼を受けなければならない。その手続きは下表の定められた時刻に必ず下記の手続きを行うこと。

① 招集時刻は、プログラム日程に示された競技開始時刻を基準に下記の時刻とする。

種目		招集開始時刻	招集所完了時刻
トラック競技	各クラス・各種目	競技開始時刻30分前	競技開始時刻20分前
フィールド競技	各クラス・各種目	競技開始時刻50分前	競技開始時刻40分前

② 招集は競技者本人が出場する意思を申告するものであり、代理者の招集は認めない。

③ 上記の手続きを終了した競技者は、指定された場所で待機して、最終点呼を受けて係員の指示により入場する。

④ 同時刻帯に他の種目に出場する場合で重複種目の招集時刻に手続きが困難の場合は先行種目の招集時刻に同時招集が出来る。

⑤ 招集完了時刻までに所定の手続きを完了しない競技者は、当該種目を棄権したものとする。（救済は一切しない）

3. 練習について

① 練習は投擲競技の練習試技および走高跳の練習試技を除きすべて補助競技場で行う。

② 投擲競技の練習試技および跳躍競技の練習試技は競技ピットに入場後、審判員の指揮により2回まで練習ができる。

4. 競技について

- ・アスリートビブスは自県登録番号を胸部および背部に安全ピンで固定し取り付ける。
- ・トラック競技に於いては、写真判定用の腰ナンバーを招集所で貸与するので、必ず右側に固定する。ゴール後速やかに外し、腰ナンバー回収係の指示に従い回収箱に入れること。
- ・草薙競技場規則により、補助競技場含めてスパイクピンの長さは、トラック9mm以下、フィールドは12mm以下の競技用のスパイクを使用すること。
- ・招集所において競技用厚底シューズの検査(h25mm)を受け出走する。
- ・スパイクを履いたまま、建物運営ゾーンに入らないこと。
- ・トラック競技者はスタート位置以外の走路外でスパイクを履いたまま、スタートダッシュは禁止する。
- ・ハードルのスタート前練習は2台までとする。
- ・走幅跳の踏切板は規定の2mで行う。Mの三段跳の踏切板は13m・11m・9m・とする。
但しM80歳以上は7mの臨時踏切板、W三段跳の踏切板は11m・9m・7m・とする。
但しW80歳以上は5mの踏切板を使用できる。尚、MW80以下でも臨時踏切の使用が必要であれば試技前に審判員に申告して変更ができる。尚、MW80以下でも試技前に審判員に申告してMWの基準に従い試技できる。ラウンド中の変更は認められない。
- ・トラック競技全てタイムレース着順判定は写真判定装置で行うが同記録の場合は生年月日の早いものを上位とする。
- ・800m以上の競技はオープンレーンとする。
- ・長距離種目はM/Wとも制限時間を設ける。3000m20分・5000m30分としこれを超過した場合は次の周回には入れない。
- ・短距離レースのフィニッシュ後は安全のため自分のコースを曲走路トップまで走る。
- ・不正スタートは1回目で失格となる。
- ・スタート言語は英語が原則となる。
- ・スタート方法400m以下はM・Wともクラウチングスタートとする。

- ・フィールド競技の持ち時間は30秒となる。
- ・高さの跳躍競技において、最低のバーの高さは以下の通りとする。M走高跳100cm・W80 最初のバーの高さおよび上げ幅は日本マスターズ規則に従う。
- ・立五段跳の踏切板は M5m・7m・9m・11m・13m W5m・7m・11mとする。
- ・投擲競技の用器具の重量およびハードル競技の高さ、インターバルは全日本マスターズ競技連盟の規則に準ずる。別表規格表を参照ください
- ・投擲競技はすべて競技場備え付けの器具を使用する。
- ・跳躍競技（走高跳を除く）および投擲競技の試技は3回でトップ8を決めた後1回の決勝トライで順位が決まる。(4回試技)
- ・競技に於いて優勝者が同順位の場合は年齢差により決定する。
- ・本競技会は事故防止のため「競技の出場又は続行が危険」と判断した場合はセーフティ審判員が競技の中止を勧告するので従わなければならない。判定に従わない場合は記録や順位は認めない。
- ・競技終了後に判明した日本記録・世界記録誕生の場合は迅速に大会本部記録担当総務員に必要事項を添付し申請すること。(トラック競技についての事後申し出は写真判定リザルト再生が困難になる)
- ・本競技会における抗議については、審判長の判定に従うこと。
- ・助力行為や持ち物など広告規制については日本陸上競技連盟規則に準じて規制する。
- ・走幅跳・三段跳以外の競技者は競技場正面スタンド軒下のコンコースへのベンチ控席の陣取りは禁止します。(メインスタンドにて控え応援下さい)
- ・招集所に関わる対競技者との判断事項は招集所主任の判定が最終判定となる。

5.表彰について

- ・静岡県内外競技者各種目・各年齢クラスの1位～3位に賞状を授与する。但し県スポレク祭賞状は静岡県内競技者最高位者を1位とし賞状を授与する。
- ・記録証は希望者に1種目500円で交付します。

6.その他について

- ・今大会の競技中に発生した疾病は医務室で応急処置を行うがその後の医療行為は負わない。万が一に備え1日リクレーション保険に加入するので、保険証持参すること。
- ・競技中に発生した傷害でテープ施術が必要な方はテープ持参で医務室において対応する。
- ・事前に健康診断を受けて、自己の健康に十分留意して出場する事。
- ・紙屑、弁当ガラなどのごみは「来た時より綺麗」をモットーに、持ち帰り運動にご協力ください。
- ・この大会の詳細情報は10月初旬静岡マスターズホームページに掲載しますので閲覧して間違いのないように参加下さい。(競技時刻・競技注意事項)

7.個人情報保護法について

本大会主催者はこの大会に参加する総ての競技者の個人情報を競技運営に必要とする要件などに利用する。また競技者は大会プログラム・インターネットおよび映像(肖像権)に姓名・年齢・所属および大会成績が掲載・転載により公開される事を承知願います。